

BUSINESS REPORT 2019

第63期 年次報告書

2018.4.1~2019.3.31

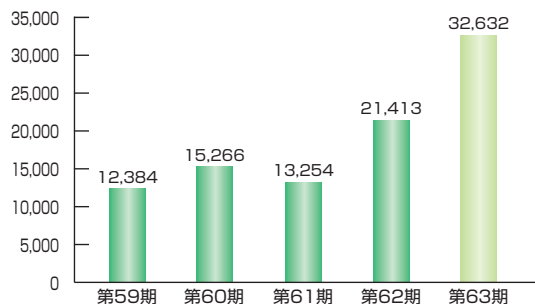


株式会社田中化学研究所

財務ハイライト

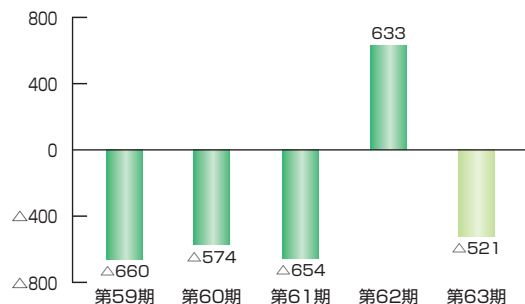
売上高

(単位：百万円)



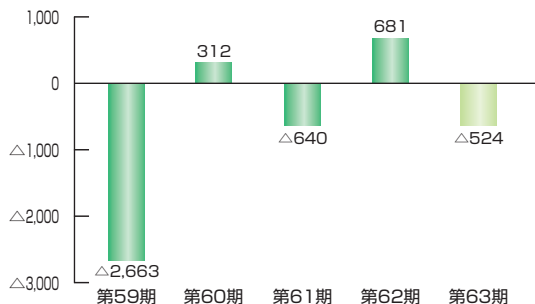
経常利益

(単位：百万円)



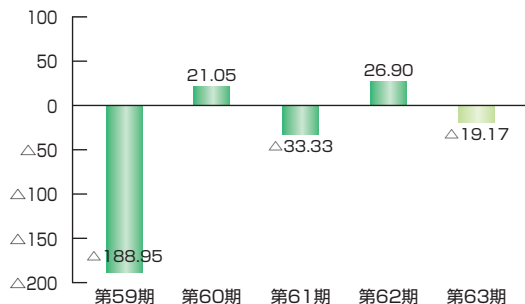
当期純利益

(単位：百万円)



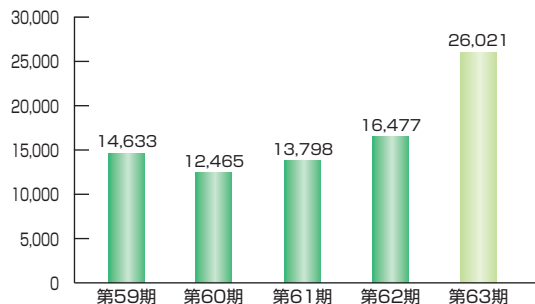
1株当たり当期純利益

(単位：円)



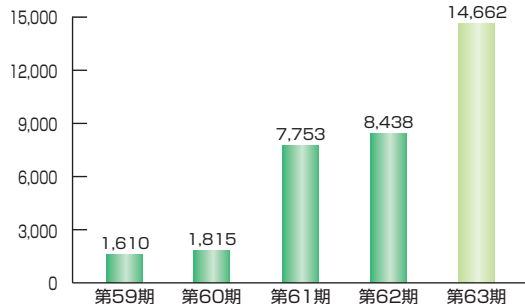
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、6月27日の株主総会で代表取締役 社長執行役員を拝命いたしました横川 和史でございます。

二次電池市場は大きな発展が見込める分野ですが、その競争環境は厳しく、市場の変化にスピード感をもって追従して事業運営をおこなっていくことが求められます。株主の皆様より永続的に信頼していただき、安定した収益をあげられる企業を目指し、当社の一層の発展のため全力を尽くしてまいりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

当社の第63期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

横川 和史

事業の概況

当事業年度における二次電池業界は、①世界各国の環境規制への対応から自動車のEV（電気自動車）シフトが加速 ②中国市場においてはEV関連産業の育成を企図した補助金政策も段階的に減少され、関連メーカーの競争環境の変化 ③EV含め環境対応車の普及やIoTの進展から高安全性、高容量、長寿命、短時間充電などにより高性能電池への要求が増大 ④車載用はじめ用途拡大による二次電池の需要拡大から必要な希少金属の資源確保に向けた動きが官民連携で展開など各国政府や関連するメーカーにおいては増大していく市場への対応として増産体制や新たなサプライチェーンの構築及び次世代電池の開発競争など業界全体で主導権争いが活発化しております。

このような市場環境の中、当社といたしましても前事業年度から車載用途製品の販売が増加基調で推移しており、短中期的にも顧客からの増産要請が高まる中で段階的に増産体制の構築を図っております。当事業年度は、第一期投資とした原料溶解設備は当年第3四半期に完成し、第二期投資として製品生産設備及び工場のインフラ設備の増強、さらに第三期投資として工場建屋及び製品生産設備の増強を決定しております。

業績面においては車載用途を中心に販売量は増加基調で推移しているものの、期初からの主要なケミカル材料や電力料金の値上げにより大幅に上昇したコスト部分の顧客への転嫁には時間を要しました。

さらに、中期的な増産に向けた設備投資に加えて組織人員体制を強化していることから労務費を中心に経費が増加しております。

また、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場において、ニッケルは前期より、またコバルトは前々年第2四半期より当年第1四半期にかけて上昇を続けておりましたが、当年第2四半期から徐々に下落をはじめ、当事業年度末にかけてはニッケル、コバルトともに急激かつ下げ幅も当年第1四半期の最高値比でニッケルは約30%、コバルトについては約70%の下落幅となり、期末における在庫評価減とあわせて大きな減益要因となりました。

以上の結果、売上高32,632百万円（前事業年度比52.4%増）、営業損失494百万円（前事業年度は営業利益730百万円）、経常損失521百万円（前事業年度は経常利益633百万円）、当期純損失は524百万円（前事業年度は当期純利益681百万円）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりであります。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

「リチウムイオン電池向け製品」

前事業年度比で38.5%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・ 車載用途は、前年第3四半期より新製品の販売が開始された事により、前事業年度比で149.2%の増加となりました。
- ・ 民生用途は、生産設備の一部を車載用途へと転換させた事により、前事業年度比で6.1%の減少となりました。

「ニッケル水素電池向け製品」

前事業年度比で10.5%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりであります。

- ・ 車載用途は、主要顧客からの受注が増加基調で推移しており、前事業年度比で15.8%の増加となりました。
- ・ 民生用途は販売数量自体、他の製品分野と比較すると限定的ではありますが受注量が減少しており、前事業年度比で19.4%の減少となりました。

【ご参考】

(ニッケル国際相場：円換算)

(単位：円/kg)

	4~6月 平均	7~9月 平均	10~12月 平均	1~3月 平均
2019年3月期	1,592	1,489	1,307	1,378
2018年3月期	1,037	1,178	1,320	1,452

(コバルト国際相場：円換算)

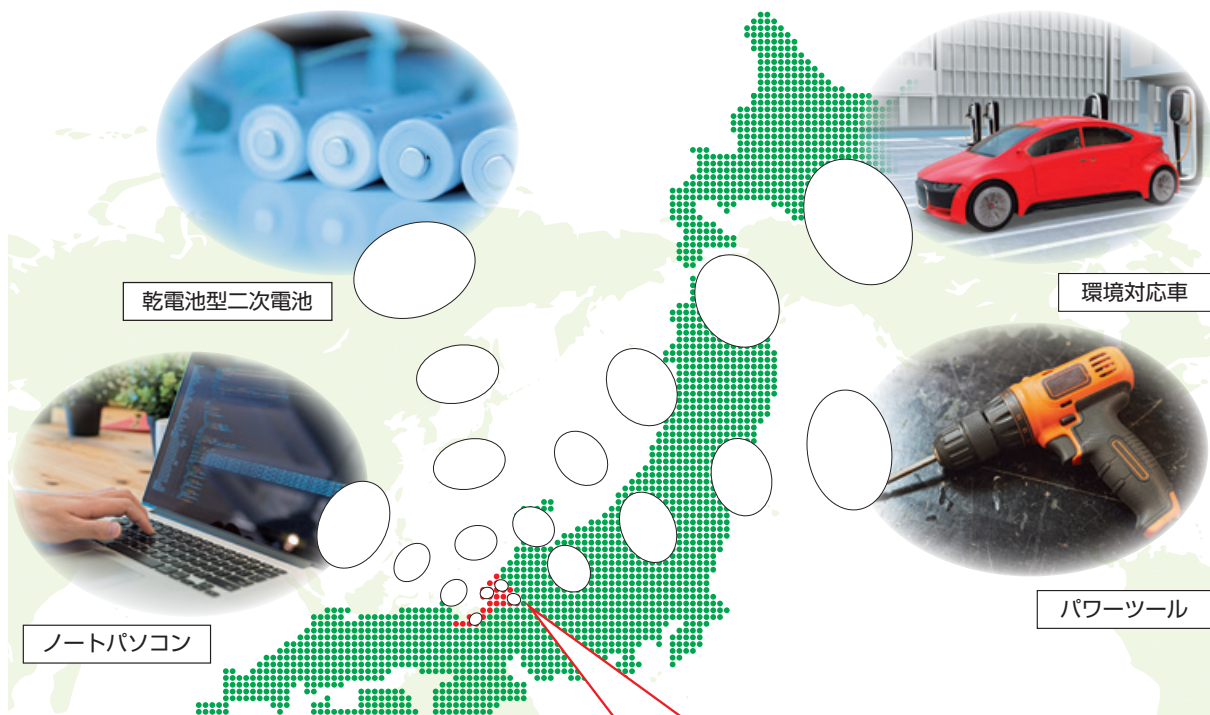
(単位：円/kg)

	4~6月 平均	7~9月 平均	10~12月 平均	1~3月 平均
2019年3月期	10,429	8,741	8,089	4,483
2018年3月期	6,965	7,324	8,059	9,456



※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

製品情報

当社の主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池等の「高性能二次電池」に使われています。リチウムイオン電池、ニッケル水素電池ともに、業界での確固たる地位を築き、常に市場をリードしています。




(株)田中化学研究所の電池材料

		
水酸化ニッケル	水酸化ニッケル (コバルトコート品)	三元系正極材料

6つのコア技術

1 : 粒子形状制御技術	3 : 粒子径制御技術	5 : 表面コーティング技術
2 : 複数元素共沈技術	4 : 結晶制御技術	6 : 化学酸化技術



個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 (2018年3月31日現在)	当事業年度 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,364,290	16,065,219
現金及び預金	945,108	2,035,756
電子記録債権	121,282	129,763
売掛金	3,109,448	2,748,772
商品及び製品	1,020,960	1,051,275
仕掛品	1,611,171	1,846,643
原材料及び貯蔵品	1,946,563	1,078,584
前渡金	—	389
前払費用	19,432	21,036
グループ預け金	2,000,000	6,500,000
その他	590,320	652,997
固定資産	5,113,013	9,956,315
有形固定資産	4,873,299	9,717,464
建物(純額)	1,035,535	1,972,112
構築物(純額)	55,471	113,312
機械及び装置(純額)	1,350,785	2,884,394
車両運搬具(純額)	591	9,845
工具、器具及び備品(純額)	28,763	180,879
土地	1,125,321	1,263,526
建設仮勘定	1,276,831	3,293,393
無形固定資産	10,131	6,721
ソフトウェア	7,462	4,139
電話加入権	1,947	1,947
その他	721	634
投資その他の資産	229,583	232,129
投資有価証券	79,613	74,532
従業員に対する長期貸付金	756	1,595
長期前払費用	8,315	2,697
前払年金費用	3,109	—
繰延税金資産	97,058	113,354
その他	41,181	40,400
貸倒引当金	△ 451	△ 451
資産合計	16,477,303	26,021,535

科目	前事業年度 (2018年3月31日現在)	当事業年度 (2019年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,464,897	9,225,408
支払手形	152,931	471
電子記録債務	486,730	957,079
買掛金	2,544,469	3,606,593
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
リース債務	138,853	142,756
未払金	996,849	2,135,505
未払費用	21,598	23,770
未払法人税等	92,131	46,125
前受金	137	137
預り金	26,035	29,223
賞与引当金	127,006	139,993
設備関係支払手形	12,137	1,729
設備関係電子記録債務	566,017	1,842,022
固定負債	2,573,899	2,133,702
長期借入金	2,400,000	2,100,000
リース債務	142,407	—
退職給付引当金	—	1,750
資産除去債務	30,637	31,311
その他	854	641
負債合計	8,038,797	11,359,111
(純資産の部)		
株主資本	8,419,239	14,646,689
資本金	5,779,021	9,155,228
資本剰余金	3,286,500	6,662,707
資本準備金	3,286,500	6,662,707
利益剰余金	△ 644,266	△ 1,169,168
その他利益剰余金	△ 644,266	△ 1,169,168
繰越利益剰余金	△ 644,266	△ 1,169,168
自己株式	△ 2,015	△ 2,077
評価・換算差額等	19,267	15,734
その他有価証券評価差額金	19,267	15,734
純資産合計	8,438,506	14,662,424
負債純資産合計	16,477,303	26,021,535

損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	当事業年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
売上高	21,413,106	32,632,135
売上原価	19,262,595	31,438,019
売上総利益	2,150,511	1,194,116
販売費及び一般管理費	1,419,566	1,688,170
営業利益又は営業損失(△)	730,944	△ 494,053
営業外収益	9,861	41,537
営業外費用	107,467	68,586
経常利益又は経常損失(△)	633,338	△ 521,102
特別利益	582	4,676
特別損失	1,718	15,443
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	632,202	△ 531,870
法人税、住民税及び事業税	56,860	7,780
法人税等調整額	△ 106,449	△ 14,748
当期純利益又は当期純損失(△)	681,792	△ 524,901

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	当事業年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 797,611	2,524,968
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 331,690	△ 3,212,626
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 423,343	6,276,728
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 24,214	1,577
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,576,859	5,590,647
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,521,968	2,945,108
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,945,108	8,535,756

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	株式会社田中化学研究所
設立	1957年12月
資本金	9,155,228千円
主な事業内容	二次電池用の正極材料の製造販売
従業員数	231名

役員 の 状 況 (2019年6月27日現在)

取締役会長	茂 苺 雅 宏
代表取締役社長	横 川 和 史
取締役	久 野 和 雄
取締役	小 坂 伊 知 郎
取締役	田 中 浩
副社長執行役員	大 畑 尚 志 (事業支援室・営業本部・情報開示担当 兼 総務人事部長)
執行役員	嶋 川 守 学 (生産本部・IR担当)
執行役員	田 中 学 (研究本部担当 兼 役員補佐 営業本部担当)
執行役員	中 根 堅 次 (RC室担当 兼 役員補佐 研究開発担当)
常勤監査役	大 嶋 夫 視
監査役	増 井 上
監査役	井 上 毅

株式 の 状 況 (2019年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
- ②発行済株式の総数 普通株式 32,533,000株
- ③株主数 14,521名
- ④大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	16,407,200	50.43
田中 保	1,264,200	3.89
株式会社三菱UFJ銀行	460,000	1.41
田中 浩	300,000	0.92
株式会社福井銀行	300,000	0.92
住友商事株式会社	250,000	0.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	215,700	0.66
住友生命保険相互会社	210,000	0.65
田中 弘	172,500	0.53
田中 学	171,100	0.53

(注) 持株比率は自己株式(1,086株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.tanaka-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご案内



田中化学研究所ホームページ
<http://www.tanaka-chem.co.jp/>
最新の当社IR情報等をご覧いただけます。

お知らせ

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。